

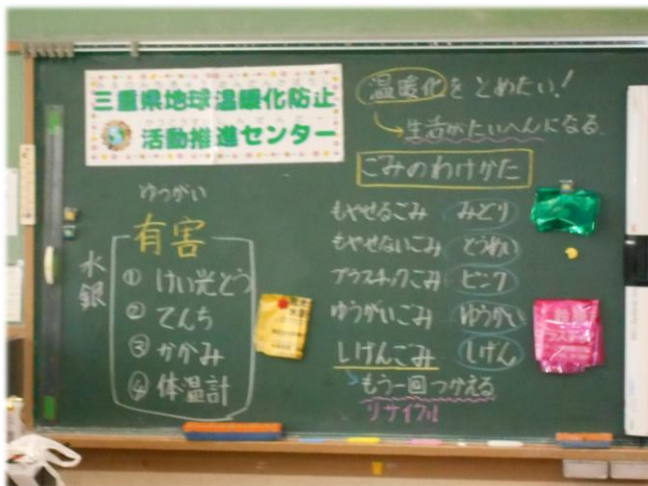


ねん かんきょうもんだいでまえじゆぎょう 4年 環境問題出前授業 5/21 (木)

三重県地球温暖化防止活動推進員の落合先生と吉田先生に来ていただき、ごみの分別と地球温暖化について勉強しました。まず、ごみにはどんなものがあるか、自分たちの生活の身近なものを「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「プラスチックゴミ」「有害ごみ」にわけてみました。燃えるごみは、清掃センターに運ばれ、燃やされますが、ものを燃やすことで二酸化炭素が発生し、地球温暖化につながることで、燃やせないごみは、リサイクルセンターの運ばれますが、ごみが増えれば、埋め立てる場所を探すこととなり、そこに住む動物に影響を与えるそうです。

生活をしているとどうしてもごみを出すことになってしまいますが、少しでもごみを減らすために「ものを大切に使う」「リサイクルする」など、子どもたちでもできることはいっぱいあると思います。だれもが気持ちよく生活できるように、そしてその生活が長く続くようにうちでも子どもたちとお話してみてください。

4年生は社会見学でも清掃センター等を見学し、実際に出るごみのことを勉強する予定です。



よ き 読み聞かせ スタート！

今年も5月14日より 朝の読み聞かせが始まりました。

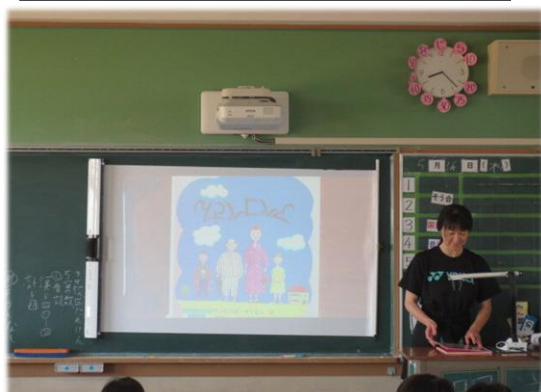
今年(ことし)は14人(にん)の読み聞かせボランティアの方(かた)の方に登録(とうろく)していただき、毎週(まいしゅうもく)木曜日(かようび)、活動(かつどう)をしていただいています。読み聞かせは、こども(こども)の脳(のう)にさまざま(さまざま)なところ(ところ)に刺激(しげき)をあたえると(い)われています。「絵(え)を見てこれ(これは)はなんだろう？」とイメージ(イメージ)したり、「次(つぎ)はどうなるかな？」と予測(よそく)や想像(そうぞう)したり、日常(にちじょう)会話(かいわ)だけではない表現(ひょうげん)や言い回し(いまいわ)に触(ふ)れることで語彙(ごい)が増(あ)えたりします。また、読み聞かせ(よき)の途中(とちゅう)でのやりとり(やりとり)や物語(ものがたり)の登場人物(とうじょうじんぶつ)の行動(こうどう)や感情(かんじょう)を想像(そうぞう)・理解(りかい)することで人(ひと)とのかかわり方(かた)や、共感(きょうかん)やコミュニケーション能力(のうりよく)を向上(こうじょう)させると(い)われています。おうち(うち)でも、ときどき(ときどき)お子さん(こ)と一緒に(いっしょ)にしてみ(みて)ては(は)いかが(いか)が(が)ですか(ですか)。



1年 「ちきゅうになった少年」



2年 「みずたまり」



3年 「アベコベさん」



4年 「ネコのスウン おおかみのおなかのなかで」



5年 「りゆうがあります」



6年 「飛ぶための百歩」